令和６年度九州地区高等学校通信制教育研究会　総会並びに研究協議会（沖縄大会）　実施報告書

|  |  |
| --- | --- |
| 事項 | 内　　　　　　　容 |
| 事業名 | 令和６年度九州地区高等学校通信制教育研究会　総会並びに研究協議会（沖縄大会） |
| 期　日 | 令和６年１１月１４日（木）～令和６年１１月１５日（金） |
| 開催場所 | 沖縄県男女共同参画センター　てぃるる |
| 主　催 | 九州地区高等学校通信制教育研究会 |
| 後　援 | 沖縄県教育員会　ＮＨＫ沖縄放送局　ＮＨＫ出版　沖縄県高等学校定時制通信制教育振興会  公益財団法人日本教育公務員弘済会沖縄支部 |
| 参加者 | 九州地区高等学校通信制職員　沖縄県教育委員会関係者　日本放送協会通信教育担当　ＮＨＫ出版関係者  全国高等学校通信制教育研究会本部関係者　沖縄県高等学校定時制通信制教育振興会関係者 |
| 実施目的 | 高等学校通信制教育における諸問題について、相互理解を図るとともに、調査・研究・協議を通じて通信教育の発展に寄与する。 |
| 実施内容 | 令和６年11月14日（木）  10：00 ～ 11：20　秋季連絡会・教務主任会  11：50 ～ 12：40　分科会打合せ会  13：40 ～ 14：10　開会式・総会  14：20 ～ 15：40　記念講演  15：50 ～ 17：00　分科会（研究発表・研究協議）  第１分科会 「運営・教務」　第２分科会 「理科」　第３分科会 「英語」  第４分科会 「総合的な探究の時間」　第５分科会 「放送教育」  18：30 ～ 20：30　教育懇談会  令和６年11月15日（金）  9：30 ～ 10：40　分科会（研究協議・まとめ）  第１分科会 「運営・教務」　第２分科会 「理科」　第３分科会 「英語」  第４分科会 「総合的な探究の時間」　第５分科会 「放送教育」  10：50 ～ 11：50　全体会（分科会報告）及び閉会式 |
| 参加費 | 加盟校：　3,000円　資料代：4,000円　　　　　　　一般参加：80名 |
| 成　果 | 開会式で主催者の挨拶、来賓よりご祝辞を賜ったあと、記念講演として『株式会社沖縄県を目指して』のテーマで民間企業として人材育成や地域活性化に携わる講師から講演をいただいた。多様な背景を持つ生徒を多く抱える通信制高校の在り方を考える機会となり、また質問も多数あり、大変有意義な情報共有の場となった。  午後からの分科会は、  ①「運営・教務」では、府内高等学校 教諭 森　幹生 先生より『私立通信制高校の特色を生かして～週５日コースの取り組みの今とこれから～』の事例発表、沖縄県教育委員会 県立学校教育課 副参事 山城　篤 先生より講評・助言をいただいた。また、２日目の分科会の中で法務省 福岡矯正管区第三部少年矯正第一課 課長 武冨 秀仁 氏より「少年院在院者に対する高等学校教育機会の提供」について行政説明をいただいた。  ②「理科」では、沖縄県立宜野湾高等学校 教諭 知念　勝美 先生より『生き（のび）るための理科教育～世界との出会い直しを楽しむ～』の事例発表、沖縄県教育委員会 県立学校教育課 普通教育班 指導主事 嘉数 晋 先生より講評・助言をいただいた。  ③「英語」では、福岡県立博多青松高等学校 教諭 緒方 潤子 先生より、『必履修科目「英語コミュニケーションⅠ」につなぐための「高校英語入門」の単位習得率アップを目指して』の事例発表、沖縄県教育委員会 県立学校教育課 普通教育班 指導主事 大城 直樹 先生より講評・助言をいただいた。  ④「総合的な探究の時間」では、熊本県立湧心館高等学校 教諭 多田隈 里香 先生より『本校の実状と総合的な探究の時間の取り組み～通信制課程における課題研究の実践と評価について～』の事例発表、沖縄県教育委員会 県立学校教育課 普通教育班 指導主事 伊野波 盛人 先生より講評・助言をいただいた。  ⑤「放送教育」では、第一薬科大学付属高等学校 副教頭 島崎 光太 先生より『ＡＩを活用した、独自の視聴学習課題作成と提出・採点に関するシステムの提案』の事例発表、全通研放送教育研究委員（東京都立新宿山吹高校 教諭）新村 久瑛 先生より講評・助言をいただいた。  いずれも活発な質疑応答と情報交換の場となり、高い成果を得ることができた。また、大分県立爽風館高等学校からの提案で、互いの報告課題（レポート）の持ち寄りが行われ、複数校がレポートを提供し、互いのレポート作成の情報共有も行われた。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 分科会 | 分野・教科 | 発表学校名 | 発表テーマ等 |
| 第１ | 運営・教務 | 府内高等学校  教諭　森　　幹生　先生 | 「私立通信制高校の特色を生かして」～週５日コースの取り組みの今とこれから～ |
|  | 沖縄県教育委員会 県立学校教育課 副参事 山城　篤 先生  福岡矯正管区第三部少年矯正第一課 課長 武冨 秀仁 様 |
| 第２ | 理科 | 沖縄県立宜野湾高等学校  教諭　知念　勝美　先生 | 「生き（のび）るための理科教育」～世界との出会い直しを楽しむ～ |
|  | 沖縄県教育委員会 県立学校教育課 普通教育班 指導主事 嘉 数　晋先生 |
| 第３ | 英語 | 福岡県立博多青松高等学校  教諭　緒方　潤子　先生 | 「必履修科目『英語コミュニケーションⅠ』につなぐための『高校英語入門』の単位修得率アップを目指して」 |
|  | 沖縄県教育委員会 県立学校教育課 普通教育班 指導主事 大城 直樹 先生 |
| 第４ | 総合的な探究の時間 | 熊本県立湧心館高等学校  教諭　多田隈里香　先生 | 「本校の実状と総合的な探究の時間の取り組み」～通信制課程における課題研究の実践と評価について～ |
|  | 沖縄県教育委員会 県立学校教育課 普通教育班 指導主事 伊野波盛人 先生 |
| 第５ | 放送教育 | 第一薬科大学付属高等学校  副教頭　島崎光太　先生 | ＡＩを活用した、独自の視聴学習課題作成と提出・採点に関するシステムの提案 |
|  | 全通研放送教育研究委員（東京都立新宿山吹高校 教諭）新村 久瑛 先生 |
| 講演会 | 講　師　名（所属・職名） | | 講　演　題 |
| 株式会社レキサス代表取締役  格式会社うむさんラボ代表取締役  　比屋根　隆　氏 | | 『株式会社沖縄県を目指して』 |